

井原市
教育便り

と も な び

2022.11
VOL.12

今回のともなびは、
子どもたちの学力
の状況などをお知
らせします。



井原市マスコットキャラクター でんちゅうくん

■学力調査の状況 (平均正答率%)

	小学校6年生			中学校3年生		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
井原市	65	62	62	70	50	51
岡山県	67	62	64	69	51	49
全国	65.6	63.2	63.3	69.0	51.4	49.3
県比較	△2.0	0	△2.0	1.0	△1.0	2.0
全国比較	△0.6	△1.2	△1.3	1.0	△1.4	1.7

■学習状況調査の状況 (※上段=肯定率% 下段=全国との差)

質問事項	小学生	中学生
国語の授業の内容はよく分かる。	83.9 (△0.1)	82.2 (1.0)
算数・数学の授業の内容はよく分かる。	79.9 (△1.3)	83.4 (7.2)
家で自分で計画を立てて勉強をしている。	77.0 (5.9)	64.4 (5.9)
学校の授業時間以外に、1日あたり1時間以上勉強している。	68.6 (9.2)	70.4 (0.9)
自分にはよいところがあると思う。	74.9 (△4.4)	78.4 (△0.1)

令和4年度の全国学力・学習状況調査は4月19日に小学校6年生と中学校3年生を対象とし国語、算数・数学、理科の科目で行われました。

国語では、小学校は話し言葉と書き言葉の違いを理解する力や文章全体の構成に着目して文を考え整える力は全国値を上回っていますが、登場人物の相互関係について、描写を基に捉える力や人物像や物語の全体像を創造する力は全国値を下回りました。中学校では論理の展開に注意して聞く力や文脈に即した漢字を書く力は全国値を上回りましたが、表現の技法について理解する力や場面と場面を結び付けて内容を解釈する力では全国値を下回りました。

また、算数・数学では、小学校は目的に応じてグラフを選択し、必要な情報を読み取る力や比例の関係をを用い未知

の数量の求め方を記述する力は全国値を上回りましたが、乗法の計算をする力や最小公倍数を求める力では全国値を下回りました。中学校では連立方程式を解く力や事柄が成り立つ理由を説明する力は全国値を上回りましたが、反例の意味や変化の割合の意味の理解では全国値を下回りました。

さらに、理科では、小学校は観察で収集した情報等を基に、問題に対するまとめを検討し、その内容を記述する力は全国値を上回りましたが、実験器具の扱い方についての理解では全国値を下回りました。中学校では、化学変化に関わる水の質量が変化しないことを分析して解釈できる力は全国値を上回りましたが、物質の状態変化に関する知識及び技能を活用する力は全国値を下回りました。

主体的で「分かる・できる」を
実感できる学習の実現を

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果から

- 調査結果を受けて、今後の主な対応
- (1) 主体的・対話的な学習を進め、深い学びの実現
 - (2) 基礎基本が確実に定着され、児童・生徒が「わかる・できる」と実感することができるよう授業の実践
 - (3) ICTを活用した個々の能力に応じた最適な学びの実現
 - (4) 児童・生徒が自己の変容を実感できる振り返りの充実
 - (5) 落ち着いた学級集団及び学校づくりの促進
 - (6) 学校と家庭・地域が協働し、質と量のバランスがとれた家庭学習の実施
 - (7) 授業時間以外での補充学習の充実
 - (8) 保幼小中高及び学校・家庭・地域が連携し、発達段階に応じた生活習慣や学習習慣の改善・定着の実施

☆学習状況調査の結果から

学習状況調査の結果から、児童生徒ともに「自分で計画を立てて勉強している」「学校の授業以外に1日当たり1時間以上学習している」について高い値となっています。子どもたちが家庭においても主体的に学習に取り組んでいる様子がうかがえます。一方で、「自分にはよいところがある」と感じられていない児童生徒が2割以上いることが課題として挙げられます。

☆子どもたちの未来のために

グローバル化やAIなどの技術革新が急速に進む予測が困難であるといわれるこれからの時代において、子どもたちには自ら課題を見つけ、自ら考え、自ら判断して行動できる力が求められます。学校での学習を中心にしっかりと力をつけてほしいと思います。また、子どもの成長には家庭と地域の協力も欠かせません。ご家庭において、学校で学んでいることについてお子様と話したり、考えたりしてみてください。

「謎解き!でんちゅうくんをさがせ!」を開催しました

井原図書館

井原図書館では、子どもたちに図書館での楽しみ方を発見し、親しみをってもらおうと、7月19日(火)～8月14日(日)まで「謎解き!でんちゅうくんをさがせ!」の特別行事を行いました。図書館に隠れているでんちゅうくんを、各自与えられた問題を解いて図書館内を巡り、探していきました。参加した親子からは、「問題を解きながら図書館内を探索することで、いろいろな本を手に取り、楽しかった。」「イベントがあると図書館を利用しやすいです。また参加したいです。」「本の背ラベルの分類番号を探すのが楽しかった。」などの感想が寄せられ、親子が図書館に慣れ親しんでいる様子が見られました。今後も特別行事をさらに充実させ、子どもたちの読書活動を推進していきたいと考えています。



コミュニティ・スクール 第1回学校運営協議会を開催



井原市立高校では令和4年度から学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとして地域と協働して、人生100年時代を豊かに生き、社会の維持発展につながる力を育む教育に取り組んでいます。6月2日第1回学校運営協議会を実施しました。参加したのは委員の方々と教員そして代表生徒。市高の強みや弱み、強みをさらに伸ばすためには何ができるか、弱みを強みに変換するためにはどうするか、強みを生かして地域にどのように貢献できるか等々、さまざまな角度から意見を出し合いました。それぞれ思いを語り合う、大変有意義な時間となりました。第2回は11月30日、第3回は2月に予定しています。

井原市指定重要文化財の指定

木造毘沙門天立像・川町の礫質片岩

もくそうびしゃもんてんりゅうそう
木造毘沙門天立像

像高54.0cm、木造彩色。芳井町吉井坂本地区の荒神社毘沙門堂内に安置されていました。平安時代後期の様式を示しつつも玉眼であり、はつらつとした体軀表現を持ちます。また、像容の近い毘沙門天像と比較したところ、南都仏師による南北朝時代の造像が推定されます。小像ながらも造形表現に優れ、井原市所在の文化財として貴重です。

所在地 井原市芳井町吉井坂本地区 荒神社毘沙門堂（文化財センター保管）



こうまち れきしつへんがん
川町の礫質片岩

礫岩層が圧力により変形したのが礫質片岩と呼ばれます。全国でも少なく、県下では鏡野町の一露頭について報告があるのみです。川町の礫質片岩は、後世の日本列島の形成史研究の進展のために保存し



ていくことが望ましく、貴重です。指定範囲は嶋川河床および県道294号沿いに観察窓があります。

所在地 井原市芳井町下嶋

ふるさと井原の未来を創るひとづくり事業より

子どもへの言葉かけ、大丈夫ですか？

本市では、テストで測れない力『非認知能力』にいち早く注目し、市民アンケート結果をもとに井原市独自に整理した非認知能力『井原“志”民力（いばら愛、やり抜く力、まき込む力）』を掲げ、学校園を中心に地域と連携した取組の中で

子どもへの言葉かけセルフチェックシート

合計10点以上の場合は要改善。言葉かけの仕方を今すぐ見直して

あてはまる 1 2 3 4 5 あてはまる

- 子どもがやろうとしているのに、先走って声をかけてしまう
- 一度に二つ以上の指示を出してしまう
- 話の一文が長い（途切れないまま話し過ぎてしまう）
- 注意する際、以前のことを蒸し返してしまう
- 「でもね」「わかるけど」などすぐに否定や逆接が入ってしまう
- 一つひとつをちゃんと確認・指示してしまう
- 定まっている自分の「どんな状態なのかわからない」
- 「○○な子だね」のような漠然とした指摘をしてしまう
- 「絶対できる」など過度に断定的な言葉を多用している
- 上から目線の言い方で指示してしまう
- 「歩こう」ではなく「走らない」のような禁止の言い方をしてしまう
- 子どもが何かをやっている途中で別のことを言ってしまう
- 子どもが自分の思い通りにならないとイラッとする
- 事あるごとに「壁のおかげで生活できているの？」と言ってしまう
- 怒りすぎてしまったと思っても、子どもに素直に謝れない

向上に向けた取組を進めております。先日、本事業の一環として開催した『井原志民塾/公開講座』の中で、井原市ひとづくりアドバイザーでもある岡山大学の中山芳一准教授から、親（大人）の話し方が非認知能力の向上に大きく影響を与えているというお話がありました。

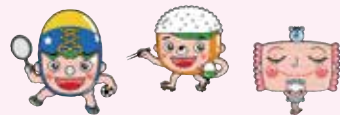
掲載しているチェックシートを参考に、ご自身の子どもへの言葉かけを見直していただき、子どもたちの非認知能力が伸びやすい環境を共に創っていきましょう。

◀子どもへの言葉かけセルフチェックシート
[岡山大学 中山芳一 作成]

※出典：2022.04.11 AERA 特集／子どもの「決める力」を育てる一親の話し方と非認知能力の深い関係

いばらっ子生活リズム向上プロジェクト

令和4年度 生活習慣に関するアンケートの結果から（実施期間：令和4年4月～6月）



一 結果を見てどう思う？

朝食を毎日食べるいばらっ子

未就学児・・・95.8%
小学生・・・93.7%
中学生・・・88.1%
高校生・・・63.0%

井原市では、朝食摂取率100%を目標にしています。適度な運動、早めの夕食、就寝で「朝食を食べたくなるリズム」をつくりましょう。

しっかり体を動かすいばらっ子

学校園以外では体を動かさないと回答した子どももいます。運動による心地よい疲れがないと、食欲や睡眠欲が下がってしまいます。

中高生になると、電子メディア（テレビ、PC、携帯電話）の使用時間が3時間以上と回答する生徒の割合が増えています。また、携帯電話（スマートフォン）の保有率は、中学生で62.8%、高校生では93.5%でした。

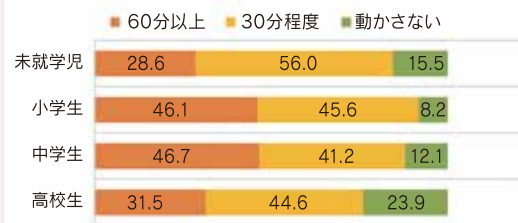
メディアに向かう時間が多くなると、運動する時間や睡眠時間も少なくなってきました。

規則正しい生活リズムは、年齢や性別に関係なく、だれにでも大切です。各学校園では、生活リズム向上をめざして、「がんばりカード」にも取り組んでいます。周囲の大人が規則正しい生活習慣づくりに関心をもち、子ども達と一緒にできることから始めましょう。

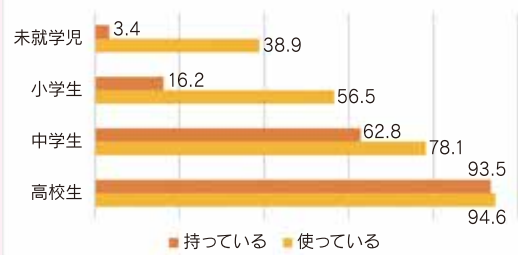
朝食摂取率



1日の運動時間（学校園以外で）



携帯電話保有率と使用率



将来、高等学校や大学等に進学する方へ

① 奨学資金貸付金《無利子》

井原市奨学資金を借りる方はこちら

貸付金額：高等学校またはこれに相当する学校 月額 10,000円以内
大学またはこれに相当する学校 月額 50,000円以内
貸付対象：井原市に本籍または住所を有する人で、大学等に在学する人
※世帯収入・学力基準あり
貸付金の返還：学校卒業後1か年を経過した翌月から貸付を受けた月数の3倍に相当する期間中に、貸付を受けた金額を月賦、半年賦、年賦で返還
返還の特例：大学またはこれに相当する学校を卒業後、返還期間満了まで井原市に住所を有する、市内の事業所等に勤務するときは、奨学資金の1/2（最大115万円）を免除。
※返還開始前に手続きが必要です。

② 奨学金返還支援補助金

日本学生支援機構の第一種奨学金を借りる方はこちら

補助金額：月賦返還額（上限15,000円）×12か月（最長36か月・最大54万円）
補助対象：奨学金返還予定者登録をしている人で、卒業後の要件（裏面②～⑤）を満たす人
※日本学生支援機構に正式な奨学金借入の申込みを行う前に手続きが必要です。

井原市教育委員会 教育総務課

Tel (0866) 62-9531（平日 8時30分から17時15分） Mail ksoumu@city.ibara.lg.jp

経済的事情により修学困難な学生を対象に奨学資金貸付制度（地元就職等返還の特例あり）や、地元就職等された方を対象に奨学金返還支援制度があります。

井原市教育委員会便り

と も な び

■発行 井原市教育委員会
■編集 教育総務課
■住所 井原市井原町311-1
TEL 0866-62-9531
FAX 0866-62-0332
メール ksoumu@edu.city.ibara.okayama.jp

◎安価な旬の野菜を多く使用できる献立の工夫 など

井原市学校給食センター・美星調理場では、物価高騰により食材が値上がりしている中ですが、献立を工夫しながら、引き続き安全・安心な給食の提供に努めてまいります。

◎市販のドレッシングや調理加工品を減らし手作りに

（調理の時間はかかりますが、食品添加物の摂取を減らすことができ、食物アレルギーを持つ園児・児童生徒も食べることができるよう献立が増えます。

例…調理加工品の「鶏肉の照り焼き」は、調理場で鶏肉の切り身を焼いて手作りのたれをかける）

◎お肉を使用する献立で、代替肉としてお肉よりも安価な大豆ミートを使用

（大豆ミートは高たんぱく・低脂肪でお肉と比べてカロリーが低く、食物繊維が含まれています。大豆ミートを使用することで、脂質を抑え、不足しがちな食物繊維の補給ができます。）

物価高騰による給食献立の工夫の事例紹介